

徳之島報 とくしのしま

2010
1月号
429

編集・発行 徳之島町役場 企画課 〒891 7192鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL (0997) 82 1111(代) FAX (0997) 82 1101
ホームページアドレス <http://www.tokunoshima-town.org/>



1月5日に町生涯学習センターで成人式が行われ、新成人157人が出席しました

今月の俳句 (町島口俳句大会入選作品より)

じきゆりてい まあむんかみど
つきぬゆる

「飾ってあるすすきの穂が秋風に揺れている。
おいしいごちそうを食べている月の晩である。

(町長賞：花徳小6年 林尚弘)



今月の主な内容

新年ごあいさつ	P 2
まちの話題	P 4 ~ P 7
教育委員会だより	P 8
お知らせ	P 9 ~ P 12
議会だより	P 13 ~ P 25
北緯29度線・戸籍の窓	P 26

平成二十二年

新年「あいらじ」

心ひとつに「住みよこ町づくり」



高岡 秀規町長

新年あけましておめでとつござい
ます。

輝かしい新年を迎えられ、町民の
皆様、郷土出身者の皆様には、ます
ますご健勝にてお過ごしのこととお
慶び申し上げます。

さて、私は町長に就任して三度目
の新春を迎えることになりました。
町民の皆様には日頃より町政発展の
為、ご協力を賜り厚く感謝申し上げ
ます。一昨年徳之島町は、町制施行
50周年を迎え、昨年は次の50年へ向
けて新しいスタートの年でもあり
ました。国政においても新政権に
変わり、昨年一年の世相を表す漢
字も「新」で、あらゆる分野で新し
く変化した年でもありました。景気

回復はまだまだ不透明な状況にあ
りますが、時代の変化に対応すべ
く、新しい発想、新しい取り組みで
「自立」した町を目指して鋭意精進
していく決意であります。

また昨年夏以降、町内でも感染拡
大を見せている新型インフルエンザ
の影響で、地域行事等の開催自粛な
どで関係者にとって残念な事もあり
ましたが、今後状況を見ながら適切
かつ万全の感染拡大防止策をとって
まいりたいと思えますので、町民の
皆様のご協力をよろしくお願い致し
ます。

町政に関しましては、地域雇用創
造推進事業をベースに農業・福祉分
野における雇用の拡大を図るため
に、本年はいよいよ「ヘルシーブラ
ンド事業」の一環である新加工セン
ターの建設に着手いたします。地元
産の野菜や果物、特産物を使い二次
製品として付加価値を付け島内はも
とより島外へも販売ルートの開拓、
販売促進・拡大に本格的に力を入れ

ていきます。「新」や「変化」の時
代に対応し新しい一歩を踏み出して
まいりたいと思えます。町民の皆
様、出身者の皆様の多大なるご理解
とご協力をよろしくお願い致します。

さて、奄美の世界自然遺産登録へ
向けての取り組みも、国や県・奄美
群島の各市町村が一体となり着実に
すすめております。町としても今年
3月に向けて「環境と人にやさしい
町づくり宣言」の条例制定へ向けて
準備を進め、環境問題へ本格的な取
り組みを行ってまいります。

奄振法も延長が決まり、農業・観
光・情報の3分野を柱に町としても
様々な事業を実施していきますが、
昨今、新政権下においての事業仕分
けの波は奄美にも影響し、昨年末に
は2010年度の政府予算案の閣議
決定で奄振予算が要求の3割減とい
う大変厳しい結果になりました。
「自分達の町は、自分達で作り上げ
る」との思いを胸に、この厳しい時
代を町民の皆さんと心一つに「健康

で明るく住みよい町づくり」を目指
し、行政改革・農業振興・福祉の充
実・観光の発展・教育の振興を推進
し、人と自然が共生し心豊かで住み
よい町づくりを皆様と一体となつて
進めてまいります。町民の皆様、出
身者の皆様方の力強いご支援を賜り
ますようよろしくお願いいたします。

また、昨年末に奄美復帰56年目を
記念して上演された島民演劇「北緯
29度線」は、見る人全てを感動させ
ずにはおかないものがありました。
出演された地元の皆さん、とくに小
中高生・青年たちの奄美の歴史と文
化を学びながら真剣に演技する姿に
は心から拍手を贈りたい。島の未来
に大きな光明を見た思いがし、これ
からの若い方々の成長に大きく期待
したいと思えます。

そして、新春にあたり本年が皆様
方にとりましてご健康で益々「幸多
き年」になりますよう、衷心よりご
祈念申し上げます新年の挨拶とい
たします。

公共下水道事業への加入（接続）のお願い

徳之島町浄化センター（処理場）と町役場周辺の一部建築物が、4月1日より下水道へ接続できます。接続できる建築物には、宅地内に「公共ます」が設置してあると思いますが、「公共ます」とは、公道に敷設した公共下水道污水管と各家庭の排水設備とを接続するために設置する「ます」です。

「公共ます」までは町で設置、管理しますが、各家庭の台所・風呂場・洗面所・トイレの排水を「公共ます」に流す排水設備の工事費は個人負担となります。

排水設備工事を行うときは、必ず徳之島町が指定した「指定工事店」へ申込み下さい。「指定工事店」では、町に提出する必要書類の作成、届け出などの手続きを皆さんに代わって行います。

* 徳之島町下水道排水設備指定工事店一覧表 *

（平成22年1月12日現在）

指定工事店	住 所	電 話 番 号
株 ヲワエ	井之川 2113-1	83-1672
富山工業	徳和瀬 2099	82-2277
有 前田水道工事店	亀津 7553	82-0308
明成工業	亀津 3162-1	83-2728
有 岸岡建設	亀津 2964-2	83-1385
有 住建設	亀津 2883-1	82-2342
株 中央開発	亀津 7257	83-2544

- ・排水設備工事費が、どれくらい掛かるのか数社から見積りを取ってみましょう。
- ・どこの指定工事店に見積りを依頼するかは、個人の自由です。
- ・現在使用している浄化槽が合併槽か単独槽か、くみ取りトイレかで工事費が違います。
- ・排水設備工事は、4月1日以降に「公共ます」に接続できるようにお願いします。
- ・工事が完了し使用が始まると、毎月下水道使用料が発生します。下水道使用料は、水道水を使用して汚水を排除する場合は、水道の使用量で算出します。下水道使用料は、使用量40m³までは水道料金と同額です。一世帯平均の水道使用量は月約25m³です。下水道使用料は月2,992円で年間35,904円になります。
- ・下水道に接続すると、現在使用している浄化槽（5人槽）管理委託料35,013円、浄化槽のプロワーの電気代、水質検査代、浄化槽等の維持管理費がいらなくなります。
- ・下水道使用料金は、毎月支払いになります。（水道料金は2ヶ月ごとに支払い）
- ・使用水の一部が井戸、タンク等の水道水以外の場合は計量装置を設置し、町長が認定する額を使用料に加算します。

受益者負担金について

- ・受益者負担金とは、下水道の建設にかかる工事費の一部を、下水道を使用する住民の方々に負担していただくものですが、徳之島町としては、下水道加入推進のため徴収しないように決まりました。

【下水道加入（接続）のお問い合わせは】

徳之島町都市開発課 TEL82-1111（内線251）

訂正と
お詫び

広報11月号の小学校陸上記録大会の6年女子の60m障害走結果に1位が2人いました。もう一人は「花徳小 井口瑞希 12秒3」です。訂正してお詫び申し上げます。



活気ある商店街に

亀津中央通り商店街で、12月12日商店街活性化イベントが開催されました。

同イベントは、亀津中央通り会（谷岡一会長）が、毎年行っている夏祭りに続く商店街活性化イベントとして行ったもので、午後3時から通りを歩行者天国にして、農産物の即売会やフリーマーケット、バンド演奏、写真展等、趣向を凝らした内容で、中央通り商店街は終日大賑わいでした。

中でも、餅つきには、餅をつく威勢のいい音にたくさんの方が集まり、無料でふるまわれたお餅を美味しくしそつにほおばっていました。



威勢のいい餅つきの音が響く

駅伝入賞報告

12月6日に与論町で開催された、第51回奄美日本復帰記念大島地区駅伝競走大会の入賞報告に、12月8日、関係者らが役場町長室を訪れました。

大会では、男子が昨年7位から9位、女子が昨年の5位から3位に入賞する大活躍を見せました。女子チームの政木孝一監督は「1区で2位という好スタートを切り、選手が1丸となってタスキをつないだ結果。来年も更に頑張りたい」と語っていました。

【徳之島町女子チーム（敬称略）】
1区前河未来・2区窪田茉喜子・3区徳田真希・4区作山美幸・5区仲千賀子・補欠政木あかり・豊さゆり



入賞報告に訪れた関係者ら

人権作文コンテスト入賞

平成21年度全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会入賞の伝達式が12月15日、役場町長室で行われました。

人権作文コンテストは「日常の家庭生活や学校生活等で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけること」を目的として開催されています。

今回は、山中学校3年の阿多充浩さんが標題「みんなの幸せ」で優秀賞に輝きました。

阿多さんおめでとうございます。



優秀賞の阿多充浩さん（写真中央）

徳之島合宿に来島

本格的な冬の合宿シーズンを迎える中、12月16日に、ママさんランナー赤羽有紀子選手が徳之島町をメインとして合宿に訪れました。

赤羽有紀子選手は、ホクレンに所属する選手で、昨年開催されたベルリン世界陸上にマラソン日本代表として出場。また、11月に開催された国際千葉駅伝に日本選抜として出場し、区間一位の走りで日本チームの優勝に貢献するなど、日本屈指の陸上選手です。

徳之島合宿では、健康の森運動公園などで走りこみを行いました。

赤羽選手の今後のご活躍をお祈りいたします。



空港での歓迎に笑顔で応える赤羽選手



サンゴ礁を守り育てる

第1回徳之島サンゴ礁ワークショップが12月19日、役場4階会議室で行われました。

ワークショップには、漁業関係者やダイビング関係者約40人が出席。はじめに母間の池村茂さんが、徳之島のサンゴ礁について講演。続いて鹿島建設株式会社環境本部・環境ソリューションの柵瀬信夫専任部長と日本ミクニア株式会社の市村康生生産本部長が徳之島で行われているサンゴの増殖実験の経過や手法について説明しました。



サンゴの増殖実験について学ぶ

社会を明るくする運動表彰

第59回社会を明るくする運動の作文コンテストの伝達式が12月15日、東天城中学校で行われました。

この作文コンテストは「日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文を書くことで理解を深めてもらうこと」を目的として行っています。

今回、優秀賞（県知事賞）を受賞したのは、東天城中学校3年の吉村朋哉さん。伝達式には鹿児島県保護観察所森徹所長をはじめ、南大島保護区保護司会吉村道子会長、徳之島町保護司会宮永勇夫会長や学校関係者らも出席し、優秀賞を祝福しました。



表彰状を受け取る吉村朋哉さん

第59回社会を明るくする運動作文コンテスト 優秀賞（県知事賞）受賞作文

「支え合い」を合い言葉に

東天城中学校

三年一組 吉村 朋哉

「支え合い。」
普段の生活の中で、あまり使うことのないこの言葉。僕自身も一年に一回使うか使わないか、そんな感じの言葉である。実際、だれかに支えられて生きていくと感じたことがある人は、数少ないと思う。しかし、この言葉は人が生きていくうえで、もっとも重要な言葉である。僕は、この言葉の重要性をある出来事で学ぶことになる。

僕は一才半の時、「アトピー」性皮膚炎」という病気にかかった。初めの頃は、そこまでひどくはならず、四才までは、一進一退の治療を続けていた。しかし、五才になったばかりの頃、ポツポツと体に水包が出はじめた。日に日に水泡の数は増えていき、最後には体全体にまで広がっていた。

母は僕の体が異常なまでに悪化しているのを心配して、急遽病院に連れて行ってくれた。

鳥の医師は、「アトピーがひどくなったね。」と言った。なんと、なんの手当てもしてあげず、かたなく家に帰った。それからは、一時間も休まずに、僕の目は開かなくなりました。

母は事態を深刻に考え、急遽飛行機のチケットをとり、名瀬の県立病院へ向かった。病院に着いた時、医師は事態を重くうけとり、最優先で僕の治療を行った。

「どうしても早く連れてこなかったんだ。菌が目に入った場合は失明、脳に入った場合は死ぬ恐れだっているんだぞ。」

医師は治療しながら、母に怒鳴った。医師の治療が済むと、僕は「無菌室」という部屋に入れられた。それが

らというものは毎日親戚の家からバスに乗って病院まで通い看病してくれた。僕は母に会えるのがすごく楽しみだったし、なにより嬉しい。まだ五才の僕は毎晩、悲しみや寂しさで押し潰されそうになった。

そんなある夜、看護師が一人話し掛けてきた。その看護師は、僕に楽しい話をしたり、おもしろいことをして、笑わせてくれた。そんな夜が続くようになり、悲しみや寂しさで押し潰されそうな夜から楽しい夜へと変わっていた。

朝や昼は母の看病に支えられ、夜は看護師との会話に支えられ、僕はいろんな人達に支えられ、二週間の入院生活を終えることができたのだと思う。この入院生活で僕は、小さいながら、たくさんの人達に支えられて生きていく。ということも学ぶことができた。

最近、理由もなく重大な犯罪に手をかける人が増えてきたと僕は思う。この人達は、もしかすると、「自分はいろんな人、たくさんの人に支えられて生きていく。」ということに気づいていないのかもしれない。だから僕は声を大にして言いたい。「人は決して一人では生きていけない。支え合い、助け合いながら生きていく。」ということ。犯罪の道へ足を踏み出した人、みんな支えることができた時、犯罪をなくし、明るい社会をつくる第一歩を歩んだのだとすると僕は思う。

家族、友達、先生や地域の人々みんなが「支え合い」を合い言葉によりよい社会を作れることを願っている。





大人の仲間入り 平成22年成人式

成人の日より一足早い1月5日、町生涯学習センターにおいて平成22年成人式が行われました。

今年は、徳之島町で182人（男子99人・女子83人）が成人を迎え、そのうち157人が出席。色鮮やかな着物や袴、スーツに身を包んだ新成人たちの晴れの門出を祝いました。

午後2時から始まった式典では、秋武教育長が「成人とは人と成ると書く。中身のしつかりした大人になって権利を主張するだけでなく、義務を果たす大人になってください」と式辞を述べました。高岡町長、住田議長の前で、樟南第2高校東康輝



さんの送る言葉に続き、最後に新成人を代表して森田貴和子さん（井之川）が「成人としての自覚を持ってこれから頑張っていきたい」と謝辞を述べました。

続いて、行われた交流会では、出身中学校の映像に乗せて中学卒業当時の先生からのメッセージ朗読や日舞に島唄など、趣向を凝らした内容で新成人を祝福しました。夜は、各家庭で祝いの席が設けられ、新成人の家では夜遅くまで、賑やかな声が響いていました。

プロからの直接指導に感動

徳之島に自主トレ入りしていた、日本ハムファイターズの鶴岡慎也捕手と紺田敏正外野手、福岡ソフトバンクホークスの荒金久雄外野手の3選手による少年野球教室が1月10日、町健康の森総合運動公園野球場で行われました。

野球教室には町内の少年野球6チームから約120人が参加。一軍で活躍するプロ野球選手から直接、キヤッチやバットイング等の指導を受けました。

プロ野球選手からの分かりやすい指導に、子どもたちは大きな声で元気いっぱい答えていました。



子どもたちからの質問に答える三選手

全国表彰を受ける

社会福祉協議会の全国表彰の報告に12月25日、役場町長室を訪れました。

今回、徳之島町社会福祉協議会（吉川毅会長）が受賞した「優良活動表彰」は、町社会福祉協議会が平成16年度から行っている要援護者への地域住民による日常的な生活支援活動「きゆうがめら活動」に対して表彰したもので、同表彰は全国で40社協、鹿児島県下では唯一の受賞となりました。

吉川会長は「日頃から協力をいただいている協力員のおかげ。今後も地域福祉活動に取り組んでいきたい」と語っていました。



表彰状を手にする関係者ら



市中パレード（写真上）と放水演習（写真下）のようす

地に根付いた消防活動

徳之島町消防団出初め式

1月6日、平成22年徳之島町消防団出初め式が行われました。

朝8時に、手々から亀津まで消防車5台による火災予防を呼びかけた後、10時からは亀津小学校吹奏楽部を先頭に町消防団や母間少年少女消防クラブ、女性防火クラブ員らによる亀津市中パレードが行われました。

続いて、亀津児童公園で観閲式、大瀬川で放水演習が行われ、川の両岸に配置された4台の消防車から一斉に放水が行われました。新春の空に描かれたアーチに見物に集まった人々たちから歓声が上がっていました。

【平成22年出初め式表彰者】
 （敬称略・カッコは担当分団名）
 日本消防協会表彰（精績章）
 久志哲哉（消防団団長）
 鹿児島県知事表彰（10年勤続章）
 鹿兒島県知事表彰（10年勤続章）
 吉山友幸（山分団）／元博久（山分団）／前田隆治（山分団）／林慶造（山分団）／保栄良（尾母分団）
 鹿児島県消防協会総裁表彰（精績章）
 竹山亘（母間分団）／吉村辰巳（花徳分団）／武資盛（花徳分団）
 鹿児島県消防協会大島支部長表彰（功績章・15年表彰）
 奥村勝男（北区分団）／佐武悟（金見分団）／福山孝一（中区分団）／小倉政一（手々分団）／豊田義人（亀徳分団）／吉村満紘（井之川分団）／池田隆三（井之川分団）



母間少年少女消防クラブについて

徳之島町立母間小学校

本校の児童数は56人、学校創立107年を迎えました。

母間少年少女消防クラブは、平成7年に発足し、今年で14年目になります。平成17年には、10周年記念式典を行い、全国少年消防クラブ運営協議会から「優良な少年クラブ」として表彰されました。また、今年度は、町生涯学習推進大会において、防火意識の向上と奉仕活動に取り組んだとして善行賞（奉仕賞）をいただきました。

今年度の消防クラブ員は、4・5・6年生の27名で組織し、徳之島地区消防組合消防長、消防組合署長、校区の消防団の方々にご指導をいただいています。

消防クラブの活動

- 5月 結団式 6月 避難訓練（火災） 9月 規律訓練
 - 10月 秋季大運動会で規律訓練の発表
 - 12月 年末火災予防呼びかけ
 - 1月 消防出初め式への参加・避難訓練（地震）
 - 2月 海岸清掃（奉仕活動） 3月 退団式
- これらの活動を通して、防火意識の醸成や母校愛・郷土愛を培っています。



< 5月結団式 >



< 規律訓練の発表 >



< 火災予防の呼びかけ >

教育委員会だより

『社会で許されないことは学校でも許されません』

本町では、授業の妨害、教師や親への暴言、暴力、喫煙、飲酒、無免許運転など子どもたちの様々な問題行動が課題となっております。現在、学校もそのような問題行動への指導に全力で取り組んでおります。

しかし、生活指導上の問題行動が起こってから「まさかと思いました。」「やっと現状がわかりました。」等の声が聞かれます。『社会で許されないことは学校でも許されない』のは当然のことです。子どもたちが、「自分のしたいことをすればいい。他の人もやっている。」「たばこやお酒ぐらいいいだろう。」などと思うのは、そういったことが許される環境にあるからです。そういった問題行動は、大きな事件や事故につながる入り口となります。保護者が率先して、「絶対に許さない」という強い意志で責任を持って御指導くださるようお願いいたします。

教育委員会も、学校の秩序を破壊し、他の児童生徒の学習を妨げる暴力行為に対しては、児童生徒が安心して学べる環境を確保するため、出席停止や懲戒等の措置も含め、毅然とした対応をとり、教育現場を安心できるものとしていく所存です。

しかし、そこまで問題が大きくならないように、学校・家庭・地域社会など、すべての関係者がしっかりと手を結び、諸問題に向け行動することが大切です。

御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

学力調査やテストを生かす

1月14日、15日に小学校5年生、中学校1、2年生を対象とした鹿児島県教育委員会が行う「基礎・基本」定着度調査が本町小学校、中学校でも行われました。これは、県全体における定着度の状況を分析した上で、分析結果をまとめ、今後の個に応じたきめ細かな指導方法の改善・充実に資することを目的として行われているものです。

学校では、この他にも全国的に行われる「全国学力・学習状況調査」（小6、中3対象）などが4月に実施されました。以下は、その結果です。

平成21年度 全国学力・学習調査状況調査結果概要（平均値）

学 年	小 学 校（6 年）					中 学 校（3 年）				
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	平均	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	平均
徳之島町平均	64.1	41.0	70.8	42.1	54.5	69.7	65.6	54.9	45.0	58.8
地区成績上位市町村	71.7	49.5	84.0	52.0	64.3	79.1	82.4	70.4	63.1	73.8
大島地区全体の平均点	66.9	44.7	75.2	47.0		70.4	68.1	53.2	45.8	
県の平均	70.9	49.3	78.6	52.4		76.1	74.7	61.1	54.1	
全国の平均	69.9	50.5	78.7	54.8		77.0	74.5	62.7	56.9	

徳之島町は、県平均や全国平均からはもちろんですが、大島地区の中でも学力の定着が十分ではないということが課題となっております。大島地区の成績上位の市町村と比較すると、10ポイント以上の差があります。テストというものは、子どもの力の一部を見るにすぎませんが、その一部が十分でないことは明らかです。現在学校では、この結果を受け、課題を明らかにして、授業改善して子どもたちへ指導をしているところです。

どんな子どもでも学力は一朝一夕に定着するものではありません。だからこそ、「どのくらい覚え身に付いているのか」、「理解できていないところはどこなのか」、「どんなところにつまずいているのか」をしっかりと把握し、それを基に教師が「できるように・分かるように」するために、要所要所で子どもたちの学習状況を知る必要があるのです。各種調査やテストはそのためにも大切であり、欠かせないものです。

町でも、学力の定着が十分でないということを自覚し、家庭と連携して子どもたちに確かな学力を付けていくよう取り組んでいく所存です。どうぞよろしくようお願いいたします。

お知らせ コーナー

名瀬保健所移転のお知らせ

名瀬保健所は、地域住民の利便性の向上や効率的な組織運営等を図るため、大島支庁本庁敷地（別館1階・2階）に移転します。

移転先は左記のとおりです。

記

1. 現在地
〒894 0032
奄美市名瀬柳町2 1
〒0997 52 5411
Fax 0997 53 7874
2. 移転先
〒894 8501
奄美市名瀬永田町17 3
大島支庁別館（1階・2階）
〒0997 52 5411
Fax 0997 53 7874

従来の電話番号、ファックス番号に変更はなく、そのまま使用できます。

3. 移転日

平成22年3月4日（木）

4. 問い合わせ先

大島支庁健康企画課（名瀬保健所）
0997 52 5411

九州運輸局鹿児島運輸支局からのお知らせ

次の行為は法律に違反することをご存知ですか？

1. 自家用車で人を運び、金品を受け取ること。

2. 貨物運送事業者が、荷物と一緒に人を運ぶこと。

3. 運転代行業者が、代行者（伴者）に人を乗せて運ぶこと。



自家用車「白」または「黄」ナンバー、または、貨物運送

事業用自動車（「緑」または「黒」ナンバー）の車両で、

旅客（人）を運送し、金品を受け取ることは、道路運送法により禁止されています。

住民の皆さんは、上記車両を、バスやタクシー代わりに利用しないようお願いいたします。

相談及び問い合わせ先
九州運輸局鹿児島運輸支局
009 261 9192

大島自動車検査登録事務所
0997 52 0757

住民生活課からお知らせ 年金相談を行います

奄美大島年金事務所から職員が来て直接相談ができます。

国民年金、厚生年金、障害年金などについてこの機会を

利用して自分や家族の年金の事を尋ねてみましょう。

日時

平成22年3月17日（水）
13時～17時

場所

役場第3会議室

問い合わせ先

役場住民生活課

82 1111

（内線121）



名瀬審査室開庁予定日（平成22年）

福岡入国管理局鹿児島出張所

開庁予定日

開設月	第1日目 13:00～16:00	第2日目 9:00～12:00
2月	15日（月）	16日（火）
3月	15日（月）	16日（火）
4月	19日（月）	20日（火）
5月	17日（月）	18日（火）
6月	21日（月）	22日（火）
7月	20日（火）	21日（水）
8月	16日（月）	17日（火）
9月	13日（月）	14日（火）
10月	18日（月）	19日（火）
11月	15日（月）	16日（火）
12月	20日（月）	21日（火）

（注意事項）

- 1 天候によっては、開庁日又は開庁する時間帯が急きょ変更されることもありますので、状況に応じて電話で照会願います。
- 2 各種申請及び必要な資料等の相談については、ご遠慮なく照会願います。
- 3 名瀬審査室には電話が架設されていないので、下記に照会願います。

照会先：福岡入国管理局鹿児島出張所
〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町18-2-40
鹿児島県港湾合同庁舎内
電話番号：099-222-5658
照会時間：午前8時30分～午後5時15分（土、日、祝日を除く）

4月1日からパスポートの申請・交付業務を開始します

市(町・村)では、県からの権限移譲により、平成22年4月1日からパスポートの申請・交付業務を開始します。これにより、原則として県の窓口は利用できなくなります。

ただし、次の場合は、県の窓口を利用できます。

理 由	旅券窓口の場所
海外で親族等が病気、事故等による死亡等により緊急に渡航する必要がある場合	かごしま県民交流センター
外国での業務等により早期に渡航する必要がある場合	
通勤・通学等で徳之島町外に通学・通勤されている場合	通勤・通学先の最寄りの県の旅券窓口

申請・交付場所 徳之島町企画課
 取扱時間 月～金曜日 午前8時15分～午後4時
 対象者 徳之島町に住居登録をしている方
 申請から交付までの所要日数 10日間(土・日・祝日、年末・年始休暇中を除く)
 申請に必要な書類
 一般旅券発給申請書 1通
 戸籍謄(抄)本 1通(発行日から6ヶ月以内のもの)
 写真(縦4.5cm×横3.5cm) 1枚(できるだけ写真店でパスポート用として撮影して下さい。)
 本人確認のための書類 (運転免許証等)
 前回取得した旅券
 住民票 1通(徳之島町へ住民登録をしている方は省略できます。)

手 数 料

一般旅券	有効期間	申請時の年齢	収入印紙	鹿児島県収入証紙	合計
手 数 料	10年	20歳以上	14,000円分	2,000円分	16,000円分
		12歳以上	9,000円分	2,000円分	11,000円分
	5年	12歳未満	4,000円分	2,000円分	6,000円分

問い合わせ先

取扱時間や申請に必要な書類など、詳しくは徳之島町企画課(電話 82-1111)までお問い合わせ下さい。

▶ 粗大ゴミの収集についてのお知らせ ◀

徳之島町では、粗大ゴミの収集を下記日程により実施いたします。
 ゴミを出される方は、粗大ゴミシール(大500円・小250円)を貼り、氏名を記入のうえゴミ収集場所に午前8時30分までに出して下さい。
 シールは、役場住民生活課及び花徳支所で販売しています。

収集月日	集 落
3月16日(水)	北区・東区
3月17日(水)	南区・中区・母間・花徳
3月19日(金)	井之川・旭ヶ丘・下久志・轟木・睦山・金見・手々
3月27日(土)	白井・大原・尾母・南原・亀徳・徳和瀬・諸田・神之嶺



粗大ゴミ分別(小は一人で持ち運びができる物、大は一人で持ち運びができない物)

粗大ゴミに、シールの貼付、氏名の記入がない場合は収集しませんので気をつけて下さい。

【問い合わせ先】住民生活課 82-1111(内線121) 花徳支所 84-0048

住民生活課からのお知らせ

財団法人家電製品協会が実施する離島対策事業により、徳之島3町から排出される家電製品の海上輸送費が2月1日より減額になります。

品目	区分	今までの助成額	変更後
テレビ	全機種	1,210円	620円
エアコン	全機種	1,380円	790円
冷蔵庫 冷凍庫	全機種	2,190円	1,610円
洗濯機	全機種	1,550円	960円

収集運搬料金の詳細については、引き取り条件で変わります。

最寄りの家電販売店にお問い合わせください。

義務外品についても小売業者へ積極的な引き渡しをよろしくお願いします。

* 限りある資源を有効活用し、循環型社会の構築にご理解とご協力をお願いいたします。

* 自然環境・生活環境を守るために、家電製品等の不法投棄は絶対にやめましょう。

【問い合わせ先】徳之島町住民生活課 生活環境係 TEL82-1111（内線121）
 広報12月号のお知らせで誤った情報を掲載しました。正しくは上記のとおりになります。訂正してお詫び申し上げます。

農政課からのお知らせ

< さとうきび品目別経営安定対策 >

- ・ さとうきび新制度では、今期で3年間の特例期間が切れます。
- ・ 特例期間後の来季の交付金単価は16,320円で据置になりました。
- ・ これまでは、耕起・整地 株出管理 植付 収穫の4つだった基幹作業に「防除」と「中耕培土」が追加になりました。
- ・ 共同利用組織の該当要件を「収穫面積45%以上」から「基幹作業面積45%以上」に緩和される。
- ・ 来季以降は、主に小規模農家が交付要件を満たすため加入している「担い手組織（農協きび部会）A-5型」がなくなります。
- ・ 代わりに3年間の共同使用組織構成特例が設けられる。
- ・ 主にハーベスタ等々を活用する基幹作業委託A-4型は、委託対象作業が追加されて収穫面積の3分の1以上の特例（本則は2分の1以上）が3年間延長されました。



< 今後のさとうきびの生産者価格は >

・ 国が直接支払 交付金 →
 （16,320円/トン：糖度13.1～14.3の時）

・ 糖業会社が支払い 市場価格
 （5,066円/トン：糖度13.1～14.3の時）
 糖度が0.1度上がるごとに30円/アップ

糖度14.3度を超えるものの単価は、
 0.1度上がるごとに100円/トンアップ
 糖度13.1度下回る場合は
 0.1度下がるごとに100円/トンダウン

基準糖度内のさとうきびの手取価格は16,320円 + 5,066円 = 21,386円/トンになり、昨年より765円アップしました。

【問い合わせ先】徳之島町農政課 糖業係 TEL82-1111（内線242）

(南九州税理士会イメージキャラクター)
皆尾 たすく

確定申告相談会（税務支援）のお知らせ



南九州税理士会 大島支部は、税理士業務が社会公共性の高いものであることから地域貢献のため期間を限定し、各税理士事務所において申告者の皆様のご相談に応じております。
お気軽にご連絡ください。

日時 平成22年2月2日（火）～平成22年2月26日（金） 土・日・祝日を除きます。

午前10時から午後12時 午後1時から午後4時

事前に必ず電話等で相談日時のご予約をしてください。

相談内容 所得税及び個人の消費税に関する相談

対象者 小規模事業者（事業をされている方で平成20年分所得金額が300万円以下で、税理士の関与のない方）

給与所得者、年金所得者

但し、譲渡所得、贈与などがある方、その他複雑な事案の方は除きます。

税務相談については無料です。申告書作成等の場合は有料になりますので、電話予約の際に税理士にご相談ください。

にせ税理士にご注意！！

税理士の資格のない人が税務代理や税務書類の作成や税務相談をすること（にせ税理士行為）は、税理士法で固く禁じられています。また、にせ税理士は法律に反するだけでなく、税務署からの問い合わせや税務調査を受けることになってあなたに代って答えることができないなど、結果的にあなた自身が大きな被害を受けることになります。十分にご注意ください。

～私たち税理士は 納税者の信頼にこたえます。企業経営者のニーズにこたえます。社会の要請にこたえます～

【相談先】 松永光子 税理士 徳之島町亀津7243 TEL83-1515
富山三紀子 税理士 徳之島町亀津7398 TEL83-0617

徳之島町選挙管理委員会からのお知らせ

徳之島町議会議員選挙が、下記の通り執行致します。

平成22年3月28日（日）
（午前7時～午後6時）

みんなで守ろう 四ない運動

贈らない 明るい選挙のシンボルは白バラです。

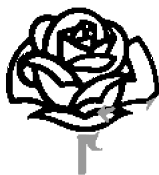
求めない

受け取らない

棄権しない

徳之島町はあなたの一票から！

～徳之島町明るい選挙推進連絡協議会～



相続登記はお済みですか？

日本司法書士系連合会では、毎年2月の1ヵ月間を「相続登記はお済みですか月間」に設定し、無料相談活動を実施しています。

相談は無料ですので、この機会にお気軽にご相談ください。

実施期間 平成22年2月1日～28日まで
相談対象 相続登記並びに相続にまつわる相談
実施方法 鹿児島県司法書士会所属の会計事務所において無料で相談を受け付けます。

問い合わせ先 鹿児島県司法書士会
TEL099 256 0335

島民劇に大観衆が酔いしれる「北緯29度線」

徳之島初となる島民劇「北緯29度線～米軍政下の徳之島の人たち～」の公演が、奄美群島本土復帰の日である12月25日に、町文化会館で行われました。

この島民劇は、徳之島町文化会館開館15周年を記念して、財団法人地域創造の助成を受けて公演したもので、公募で集まった出演者、裏方、総勢170人の島民が参加して実現しました。

出演者は、ほとんどが演技は初めての初心者ばかり。この公演のために約半年にわたり福岡の劇団道化の指導を受けて練習を積み重ねてきました。

劇は、昼と夜2回行われた公演は、前売りが全て完売するほどの人気で、米軍政下の貧しい時代に明るく生き抜いた島の人々を描いた姿に、観客からは惜しみない拍手と賞賛が送られていました。

【『北緯29度線』フォトギャラリー】



(写真提供：スタジオカガワ)